

事務事業名	県食生活改善推進員連絡協議会参画事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5315										
			所属課室	健康増進課		課長名	櫻田正文										
	☐ 実施計画事業		所属担当	健康づくり担当		担当者名	新海みちる、保坂望										
基本政策	基本計画	18	快速で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策	計画	18	健康づくりの推進	事業区分	01	一般	0	4	0	1	0	1	0	2	0	1	0
施策	体系	31	保健・医療の推進		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業											
					☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業											
事業期間	☐ 単年度のみ	☒ 単年度繰返 (開始年度 H15 年度)	法令根拠	健康増進法、食育基本法													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)													
	・山梨県内の食生活改善推進員会の連携・調整や研修会を実施するなど、組織育成を行っている協議会に対し、法令外負担金の支出を行う。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)													
				法令外負担金 0													
				計 0													

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	法令外負担金の支出
23年度活動予定	法令外負担金の支出
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
食生活改善推進員	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
・本市の会員が県組織から活動支援が得られる	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
会員が活動しやすい環境になり、市民に対する健康づくりの支援活動が活発になる。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 法令外負担金の支出回数	回
イ:	
ウ:	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 会員数	人
イ:	
ウ:	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 県組織で実施される研修会の開催数	回
イ:	
ウ:	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア:	
イ:	

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)	
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費計 (A)		千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	0	0	0	0	0	
		延べ業務時間	時間	0	0	0	0	0	0	0	
		人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A) + (B)		千円	0	0	0	0	0	0	0	0
活動指標		ア	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		イ									
対象指標		ア	人	475.0	448.0	454.0	454.0	454.0	454.0		
		イ									
成果指標		ア	回	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
		イ									
上位成果指標		ア									
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	・法令外負担金は合併前からの継続事業である。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	・県および保健所からの事務的支援が減らされている。 ・H21年度から廃止されている。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	・特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている 【内容!】 ☐ 取り組みしていない 【理由!】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成21年度から廃止された。
H 22年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	県食生活改善推進員連絡協議会参画事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 会員が活動しやすい環境になることで、市民の健康づくりがより推進される。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 市長が委嘱している団体なので、妥当である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】 平成21年度から廃止されたため。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 平成21年度から廃止されたため。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 人的支援が減られ、研修会の回数も減っており現状では十分な支援が得られているとはいえないので、特に影響はない。	☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない 【理由↓】 平成21年度から廃止されている。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 平成21年度から廃止された。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 人件費は発生していないので、削減余地はない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 団体および会員のためだけの事業ではあるが、保健所組織から支援を受けた会員が地域住民に対して食生活改善のボランティア活動を行っていくので公平・公正である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり	平成21年度から法令外負担金は支出していない。H22年度は、未定ということで予算化した。県で検討し、各市町村の法令外負担金がなくても活動可能という判断をしたため廃止とした。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☒ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr> </table>	成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																					
コスト削減優先度評価結果	対象外																					